

韩国最大日语培训机构“时事日语”指定教材



JLPT

新日本语能力测试

N2 读解

高仿真
模拟精练



名校题库经典，绝对高命中率！

[韩]徐庆元 [日]赤岭忠宏 编著
李町雪 译

世界图书出版公司



图书在版编目 (CIP) 数据

新日本语能力测试高仿真模拟精练 N2 读解 / (韩)徐庆元, (日)赤岭忠宏编著; 李町雪译. —北京: 世界图书出版公司北京公司, 2011.4

(新日本语能力测试备考丛书)

ISBN 978-7-5100-3288-2

I. ①新… II. ①徐… ②赤… ③李… III. ①日语—阅读教学—水平考试—习题 IV. ① H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2011) 第 032196 号

© Sisa Japan, 2010

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored or transmitted by any means without the prior permission of the publishers. It is for sale in the mainland territory of the People's Republic of China only.

本书由韩国 Sisa Japan 出版社授权世界图书出版公司北京公司出版发行。

新日本语能力测试高仿真模拟精练 N2 读解

编 著 者: [韩]徐庆元 [日]赤岭忠宏

译 者: 李町雪

责任编辑: 张子祎

封面设计: 艺 洸

出 版: 世界图书出版公司北京公司

出 版 人: 张跃明

发 行: 世界图书出版公司北京公司

(地址: 北京市朝阳区大街 137 号 邮编 100010 电话 010-64077922)

销 售: 各地新华书店及外文书店

印 刷: 三河市国英印务有限公司

开 本: 787 mm × 1092 mm 1/16

印 张: 11.25

字 数: 200 千

版 次: 2011 年 6 月第 1 版 2011 年 6 月第 1 次印刷

版权登记: 图字 01-2010-6163

ISBN 978-7-5100-3288-2/H · 1199

定价: 25.00 元

版权所有 翻印必究



N2 读解

JLPT

新日本语能力测试

高仿真 模拟精练

[韩]徐庆元 [日]赤岭忠宏 编著
李町雪 译

世界图书出版公司

北京·广州·上海·西安

前言

实战模拟题 第1回4

实战模拟题 第2回 28

实战模拟题 第3回 52

实战模拟题 第4回 76

实战模拟题 第5回100

答案124

附录 实战模拟题第1~5回 译文与主要词汇126

2010年开始, 日本语能力测试(JLPT)进行了改革。对于改革后的考试, 考生和教师都会遇到多方面的困难。改革后的题型发生了很大变化, 仅仅依照现有教材学习显然不够。语言知识、听解板块已经陆续出版了配合新题型的新书, 但是读解专用的新教材尚未露面。其中当然有很多原因, 但是有一点可以肯定的是, 读解教材的编写不是短时间内就能够完成的。

不符合能力考试要求的阅读文章, 即使费尽心思去努力学习也很难应付实际考试。所以, 我们在开始编写本教材之前, 首先对与N2水平相匹配的词汇进行了整理, 然后再根据历年已考过的词汇, 仔细分析和归纳将来最有可能考到的词汇, 并制定了全面的框架, 这样就让我们对全部N2词汇一目了然。在此基础上, 又依据改革后的考试指南, 对新题目进行了分类和整理。经过5个月的努力, 终于完成了这本能够完全应对新日本语能力测试读解考试的教材。

本教材有如下特点:

首先, N2考试指南把读解部分大体分为短文、中文、综合理解、长文和信息检索。本教材的所有题目都以考试指南所指定的字数标准为依据。换句话说, 本教材收录的所有题目篇幅与实际考试一致, 只要熟悉了本教材中的题目, 面对实际考试也能应付自如。

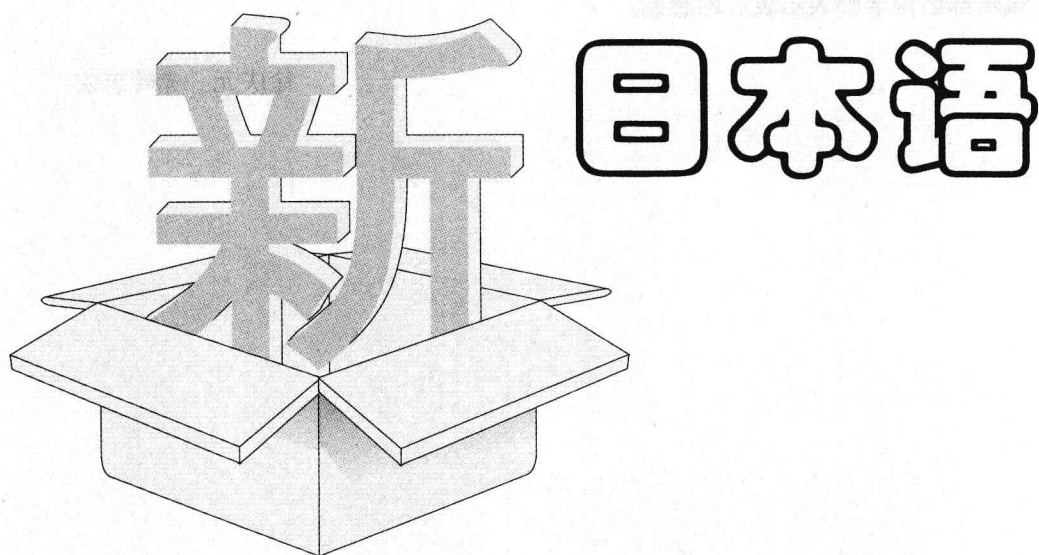
其次, 考虑到学习者的方便, 所有题目均提供标准答案, 另外还设计了附录列出所有题目及关键词的中文解释。在学习过程中如果遇到不明白的地方, 就可以及时查阅, 不影响做题进度, 从而提高学习效率。

再次, 为了防止文章内容过分偏向于某一领域, 在编写阶段已经确定好了不同类别题目的数量。因此, 用本教材进行学习, 就能够掌握读解考试中会出现的所有主要词汇。

衷心希望本书能对各位日语学习者有帮助。

最后, 谨向为编辑出版本书不分昼夜地付出辛勤劳动的“时事日语出版社”(本书原版的出版社)编辑部诸位老师表示衷心的感谢。

徐庆元 赤岭忠宏



第1回

实战模拟题

自测表

问题类型	序号	出题类型	难易度	解答	
内容理解 (短文)	1	理解文章细节	★★	○ / x	
	2	理解作者想法	★	○ / x	
	3	理解作者想法	★	○ / x	
	4	理解文章主旨和要点	★★	○ / x	
	5	理解作者想法	★	○ / x	
内容理解 (中长文)	6	理解文章细节	★★	○ / x	
	7	理解文章细节	★★	○ / x	
	8	理解划线部分所指内容	★	○ / x	
	9	理解作者想法	★★	○ / x	
	10	理解划线部分的理由	★★	○ / x	
	11	理解文章细节	★★	○ / x	
	12	理解划线部分的理由	★★	○ / x	
	13	理解文章细节	★★★★	○ / x	
	14	理解文章细节	★★	○ / x	
综合理解	15	理解不同意见	★★★★	○ / x	
	16	理解不同意见	★★★★	○ / x	
理解意图 (长文)	17	理解划线部分的理由	★★	○ / x	
	18	理解划线部分所指内容	★★	○ / x	
	19	理解作者想法	★★★★	○ / x	
信息检索	20	理解文章细节	★★★★	○ / x	
	21	理解文章细节	★★★★	○ / x	
				合计	___ / 21

問題1 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

あなたは人間開発指数という言葉を知ったことがありますか。人間開発指数(HDI)とは、各国の人々が人間としての尊厳^{そんげん}(注1)をもって生活しているかどうかを指数化したものです。この指数が高ければ高いほど、基本的な人間の能力が環境に制限されないで発揮^{はつき}できる社会であると考えられています。これは一人当たりの国内総生産(GDP)、平均寿命、識字率^{しきじりつ}(注2)、就学率の四つが基本になります。日本は高い数値を誇^{ほこ}っていますが、それも世界一の長寿国のおかげかもしれません。

(注1) 尊厳^{そんげん}：相手を尊敬して大切に思うこと

(注2) 識字率^{しきじりつ}：ある国の国民のうち文字を読める割合のこと

1 以下の例の中で、人間開発指数が高いと思われる国はどこか。

- 1 子供の自立が進んでいて、学校に通わず仕事をしている子供が多い国
- 2 個人の所得は少ないが、人口が多いので国内総生産が高い国
- 3 移民をして来た人が多く、共通語の普及に努めている国
- 4 医療技術が進んでおり、乳幼児死亡率が低い国

日本では昔から「能ある鷹^{たか}(注1)は爪を隠す」ということわざがあった。

これは本当に実力のある人物は、他人に自分の能力を誇示^{こじ}したりすることはないという意味のことわざだ。本来の意味は、実力者は余裕があるからあえて(注2)優秀さを自慢する必要がないというものだが、現実的には能力をアピールすると他人に嫉妬^{しつと}(注3)されるので、自分の実力は大したことはない^{けんそん}と謙遜した方が生きやすいからとも言える。

現在もこのことわざが生きているのは、この状況が昔に比べてあまり変わっていないからだろう。

(注1) 鷹^{たか}: 肉食の大きな鳥のこと

(注2) あえて: わざわざ

(注3) 嫉妬^{しつと}: 自分より優れている人を羨ましく思うこと

2 筆者が、現在の日本でも自分の能力を謙遜^{けんそん}した方がいいと思っているのはなぜか。

- 1 他人から嫉妬^{しつと}されるので、あまり目立たない方がいいから。
- 2 実力者は余裕があるので、アピールする必要がないから。
- 3 謙遜^{けんそん}をした方が格好が良いと、他人から思われるから。
- 4 謙遜^{けんそん}をして生きることが、日本の昔からの伝統だから。

私にはどうしても捨てられないものがある。それは私の人生を記録したアルバムだ。

人生は十人十色^(注1)で、一つも同じものはない。人それぞれ育ってきた環境も違えば、歩んできた道も違う。私はそんな人生の節目^(注2)で写真を撮り、思い出を記録してきた。

私がどんな人物なのかを自分の口で説明することは難しい。しかし、写真を見ればその時々私に幸せだったのかどうかを、表情を通じて伝えることができる。私が生きてきたその証^(注3)が、このアルバムなのだ。

(注1) 十人十色^{じゅうにんといろ}：人はそれぞれ考え方や好みが違っているということ

(注2) 節目^{ふしめ}：物事の区切りになる点、時期

(注3) 証^{あかし}：証明のこと

3 筆者は写真をどのようなものだと思っているか。

- 1 自分が人生の節目^{ふしめ}で感じたことの記録
- 2 自分の思想や考えを発表するための手段
- 3 自分と他人との違いをはっきりさせる基準
- 4 自分と他人とのコミュニケーションに役立つ道具

落とし物をする人は後を絶たないが、駅にある遺失物管理所には毎日、莫大^{ばくだい}な量の落とし物が持ち込まれるという。

その中にはウエディングドレスやガスマスクなど、どんな目的で持ち歩いているのかよくわからないものもあるが、一般的に日本で一番多いものは傘だそう
だ。しかし、これも国が変われば、落とし物の順位も変わってくる。ちなみに、イ
ギリスでは鞆^{かばん}が一位だそう。雨が多いにもかかわらず、イギリス人は傘を持ち
歩くことが稀^{まれ}_(注2)で、落とす人が少ないらしい。

落とし物でその国の習慣もうかがい知ることができるようだ。

(注1) 莫大^{ばくだい}：とても数が多いということ

(注2) 稀^{まれ}：あまりないということ。珍しいこと

4 この文章で筆者が一番言いたかったことはどんなことか。

- 1 世界にはさまざまなものを忘れる人がいる。
- 2 日本の落とし物は傘が多く、イギリスでは鞆^{かばん}だ。
- 3 落とし物から国の文化や習慣も察^{さつ}することができる。
- 4 人は思いもかけないものを持ち歩いているものだ。

完璧な人は世の中にいないが、ミスをした時にあれこれ言い訳をするのは感心しない^(注1)。

物事が順調に進んでいる時にはわからないが、何か問題が発生した時にどうしてもその人の性格が出やすくなる。特に自分がしたミスに長々と言い訳をすると、人間が小さく見えるし責任を逃れようとするずるさ^(注2)を感じてしまう。

私がこれまで会ってきた優秀と言われる人達はみな、ミスをした時にこそありのままを報告し、相談をして最善の道を探そうとしていた。このような人が、本当の意味で優秀な人ではないだろうか。

(注1) 感心する：りっぱな行為やすぐれた技術に心を動かされること

(注2) ずるさ：正しくないと思われる考えや行動のこと

5 筆者が優秀だと思う人はどんな人か。

- 1 ミスをしてもし言い訳をしないで、できるだけ早く自分だけで解決しようとする人
- 2 ミスをしないように周りの人と相談し、慎重に仕事を進める人
- 3 はじめから他人と協調し、チームワークを大切にする人
- 4 ミスを隠さず報告し、他人と協力して問題を解決しようとする人

問題2 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

私は1年に数回、一人で旅に出る。

別に友達がいらないわけではない。こう見えてもけっこう社交的な方だし、社内の男性達の間でも人気がある。いや、きっとある方だと信じている。

そんな私が一人で旅に出る理由は、いつもの自分をリセット^(注1)して、また新しいスタートを切るきっかけを作るためだ。

普段、会社生活をしていると言いたいことも言えずに笑顔を作り、理不尽^{りふじん}だ^(注2)と思う上司の命令にも、文句を言わずに従わなくてはならない。こんな毎日が続くと、私の中にまるでワインの澱^{おり}^(注3)のように黒い気持ちがたまっていく。

その澱^{おり}を旅先に捨ててに行くのだ。そんな時に、そばに誰かがいたのでは捨てられるものも捨てられなくなってしまう。

行き先はどこでもいい。北でも南でも、暑くても寒くてもかまわない。ただ大切なことは、日常生活とは違う環境に自分を置くこと。そして人目を気にせず、自分らしくいられる時間を過ごすこと。

贅沢^{ぜいたく}なんてしなくてもいい。コンビニのサンドイッチをくわえていても、私にはまるで最高級^{きゅうてい}の宮廷料理のように感じられるのだから。

さて、次の休みにはいったいどこへ捨てに行こうか。

(注1) リセット：今までしていたことを、最初から新しくやりなおすこと

(注2) 理不尽^{りふじん}：正しいと思えないこと

(注3) 澱^{おり}：ワインを長時間保存するとできるもの、飲むことができない

- 6 筆者が旅に出る理由として最も適切なものはどれか。
- 1 一人でも、友人と一緒にでも、旅行をするのが大好きだから。
 - 2 いやなことがあって会社を辞めた後、旅行に出ることになっているから。
 - 3 普段の生活でたまったストレスを発散したいから。
 - 4 旅行で今までとは違う新しい自分を発見したいから。
- 7 筆者がこだわる旅行先の条件は何か。
- 1 熱くも寒くもなく、ちょうど良い気候の地域
 - 2 コンビニのサンドイッチでさえ、美味しく作られるような地域
 - 3 どんなものを捨てても、文句を言われない地域
 - 4 人目を気にせず、自分らしくいられる地域

日本は現在、「大学全入時代」^{ぜんにゅう}に突入したと言われています。これは子供の数が少なくなり、入学希望者より大学の定員数の方が多くなったからです。私達のようなベビーブーム世代^(注1)からするととても羨ましく見えるのですが、今の若者の立場からすると、そう良いことばかりではないようです。

①その理由は、大学に入ること自体は難しくなくなったのでそれが人生の目的にはならず、本当に自分のやりたいことが何なのか探せないで悩んでしまうとのこと。激しい受験戦争に勝ち抜くため、「四当五落」^{よんとうごらく}^(注2)を合言葉^{あいことば}^(注3)に、眠い目をこすりながら睡魔^{すいま}と戦った私達の努力が、何か虚しく感じられてしまします。

私達の世代と今の若者の世代では、大学に入ることの意味が変わってしまったような気がします。

ただ、その一方で、受験戦争で全ての力を使い果たしてしまった私達とは違い、若者の中には高校生の時から将来の自分の姿を十分に考え、計画を立てている意識の高い学生も増えています。自由な時間をどのように使うかが、将来の自分を決める大切な要素になるのでしょう。

(注1) ベビーブーム世代：1947～49年の間に生まれた世代

(注2) 四当五落^{よんとうごらく}：4時間しか寝ないで受験勉強すれば合格できるが、5時間も寝てしまうと合格できないという受験勉強で使われた言葉

(注3) 合言葉^{あいことば}：目標としていつもそのように行動しようとする言葉、座右の銘^{ざゆうめい}

8 ①その理由は何を指しているか。

- 1 大学全入時代^{ぜんにゅう}に突入したということ
- 2 大学全入時代^{ぜんにゅう}が良いことばかりではないということ
- 3 子供の数が少なくなったということ
- 4 ベビーブーム世代ではなかったということ

9 筆者が考えている大学全入時代^{ぜんにゅう}のメリットとは何か。

- 1 大学に入ることが人生の目的にならなくなったということ
- 2 受験勉強^{けんけん}が易しくなり、学生に余裕ができたということ
- 3 将来の自分の夢や計画を立てる学生が増えてきたということ
- 4 自分のやりたいことが増え、選択の幅が広がったこと